

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和5年度事業)

令和6年8月

小野町教育委員会

目 次

■はじめに	1
■点検及び評価制度の概要	
1 目的	2
2 点検・評価する事務の対象	2
3 点検・評価の実施方法	2
4 学識経験者の知見の活用	2～3
5 点検・評価の具体的な方法	3
6 町民への公表	3
7 評価委員会の点検・評価の概要	4～5
8 令和6年度教育委員会事業点検・評価（令和5年度事業） 結果一覧表	6～7

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

小野町教育委員会における令和5年度の教育行政は、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」のもと実施されました。中でもまちづくりの基本姿勢の第一、「『人』を大切にし、『人』を育てる。」を念頭に基本目標の「(1)人を育む子育て・教育・文化のまち」の実現に向けて教育委員会の「教育大綱」及び「教育委員会重点施策」を策定しさまざまな施策を実施してまいりました。

生きて使える確かな学力を培うこと、人とのつながりを大切にしたい心豊かな人間性を培うこと、そして、たくましく生きるための健康や体力を培うことを各領域共通の基本におき、教育委員会が点検・評価（自己評価）を行うとともに、評価の客観性を確保するため、「小野町教育行政評価委員会」を設置し、学識経験者から評価及び意見をいただき、その結果を本報告書としてまとめたものであります。

小野町教育委員会は、小野町教育行政評価委員会の点検・評価の結果を踏まえて、今後とも学校教育や生涯学習・スポーツ活動の充実、青少年健全育成の推進及び町民文化の向上などに努めて参りたいと考えております。

町民の皆様には、本町の教育行政の充実発展のために、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年8月

小野町教育委員会

点検及び評価制度の概要

1 目的

教育委員会の基本方針に沿って計画的に教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが点検・評価を行うとともに、学識経験者の提言・意見を踏まえて、効果的な教育行政をより一層推進するとともに、その結果を町民に公表することにより、開かれた教育委員会を目指すことを目的とする。

2 点検・評価する事務の対象

本町教育行政の行動計画である、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」及び「小野町教育委員会重点施策」等に掲げられた事務事業のうち、教育委員会が所管する事業を点検・評価の対象としている。

なお、点検及び評価の対象年度については、前年度の事務事業を対象とする。

教育課所管・・・・・・・・・・26事業

3 点検・評価の実施方法

点検・評価は重点施策の実施状況について明らかにするとともに、事業の課題等を分析し、今後の対応方針について自己評価を行うとともに、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々により点検・評価が行われた。

4 学識経験者の知見の活用

小野町教育行政評価委員会設置要綱に基づき、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、教育に関し学識を有する方々の知見を活用することにより客観性を確保するため、次の3名の委員から様々な意見・評価をいただいた。

○小野町教育行政評価委員会委員名簿

(敬称略)

職名	氏名	備考
委員長	根内 喜代重	元公立学校教員
委員長職務代理者	先崎 和子	元私立大学准教授
委員	蓬田 洋	小野小学校PTA会長

○小野町教育行政評価委員会は、2回開催した。

区 分	開 催 日	内 容
第1回	令和6年7月2日（火）	①教育委員会における自己評価について ②教育行政評価委員会の意見及び評価について（点検評価の手法）
第2回	令和6年8月9日（金）	①各委員の評価結果について ②教育行政評価委員会の評価・意見の集約について

5 点検・評価の具体的な方法

（1）点検及び評価の主体

点検及び評価は、当該事務事業を企画立案し、遂行する立場から教育委員会が行うものとする。

（2）点検及び評価の視点

点検及び評価は、事務事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として行うものとする。

（3）教育委員会による自己評価

①作業シート（事業評価調書）の作成

教育委員会が所管する事務事業について、現状の把握と目指す指標の設定（数値化できる場合は可能な限り数値化する）を行い、上記（2）の視点をもとに4段階の評価を行う。

②事業点検・評価シートの作成

事務事業（26事業）毎に作成し、それぞれ4段階の評価【上記①の作業シートに基づき（A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要）】を行い、事業の成果と課題等を明らかにする。

（4）教育行政評価委員会の意見・評価

点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、小野町教育行政評価委員会を設置し、教育委員会が所管する事務事業の自己評価に対する評価や今後の事務事業の方向性等に関して、意見を伺うものとする。

6 町民への公表

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書は、町のホームページに掲載する。

7 評価委員会の点検・評価の概要

(1) 施策（事業）の評価の概況

各事務事業の評価は目標に対する達成度を基本としつつ、事業の進捗状況などを踏まえて、有効性や改善点など総合的に判断して「A」、「B」、「C」、「D」の4段階で評価をしている。

【評価区分と今後の方向性】

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要

※目標値を設定していない場合は、指標の推移、事業の進捗状況等を総合的に判断して評価する。

上記評価区分を踏まえて、「さらに重点化」、「現状のまま継続」、「見直しの上継続」、「事業の縮小」、「休止・廃止」など今後の方向性を定める。

(2) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、各委員の「評価」と「意見」を取りまとめ、点検・評価シートに記載している。なお、個別の点検・評価シートについては、8ページ以降に掲載している。

(3) 教育委員会自己点検・評価の概要

教育委員会における事務事業26事業の評価については、「A」が13事業、「B」も13事業となっており、今後の方向性としては、「さらに重点化」が9事業、「現状のまま継続」が16事業、「見直しの上継続」が1事業となっている。

(4) 教育行政評価委員会からの点検・評価結果

教育委員会が実施した26事業の自己評価を踏まえて、小野町教育行政評価委員会としての総合評価、今後の方向性及び個別事業毎の意見をいただいた。

その結果、総合評価は「A」が13事業、「B」は13事業となっている。

なお、小野町教育行政評価委員会における総括評価については、次のとおりである。

令和6年度 小野町教育行政評価

小野町教育行政評価委員会

【総括評価】

令和5年度の小野町教育委員会の教育行政は、「子どもから大人までのすべての町民が、生涯を通じて目標に向かって楽しく学び、文化的・健康的な生活を送れる環境を創り、心豊かでたくましい人づくりや調和のとれた人間力向上を目指すこと」を基本理念として、教育の充実と振興のため、きめ細やかな取り組みが実施されていた。

学校教育分野においては、小学生を対象としたスプリング・ショートプログラムや中学生を対象としたサマー・ショートプログラムを実施し、児童生徒の学習機会の拡充を図り、確かな学力の向上に行政として積極的な取り組みを行っている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも積極的な活用を行い、多様な理由による悩みを抱える児童生徒の心身の安定にも努めていた。今後は、学校教育のさらなる充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業が適切に推進されるとともに、配置されているICT支援員を有効活用することによって、教育効果を最大限に高めていっていただきたい。児童生徒の「生きる力」である確かな学力・豊かな心・健やかな体が着実に育まれるよう、適正な学びの保障に努めていただきたい。

生涯学習分野においては、多目的研修集会施設や勤労青少年ホームなど各施設の維持管理や利便性の向上に努められた。小・中学校と図書システムの連携がなされ、学校のニーズに応じた配本業務を行うなど文化の館と一緒にした図書館利用が考えられ読書活動の推進につながっている。また、各種大会・講演会等を実施するにあたっては、感染症に注意しながら各団体が主体的に取り組んでいる様子がうかがわれる。丘灯至夫記念館の30周年事業として偉人マンガを制作し功績・業績を広く伝える取り組みは、町民の自信と誇りにもつながる。文化財の管理運営では、天然記念物の養生や文化財ウォークを実施するなど、地域住民が芸術・文化・スポーツに親しめるよう、自発的な生涯学習と社会活動の充実に取り組まれた。今後も引き続き、地域の情勢を見極めながら、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興のため、住民ニーズを的確に捉えた魅力ある事業展開と、安全で利用しやすい施設整備、施設の効果的な利活用に努めていただきたい。

少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの多様化により、子どもたちを取り巻く環境が急激に変化していく中で、家庭と地域のつながりや人々の価値観も大きく変化しており、社会全体における教育意識や倫理観の低下など諸課題が顕著となっている。そのような中、地域の財産である人材の育成は、本町教育に課せられた重要な責務である。今後も、未来を切り開く子どもの育成と、生涯にわたる学びの支援及びスポーツの推進を重点として、地域及び関係機関と連携・協力しながら、教育行政の更なる充実を図っていただきたい。

今後とも、教育委員会としての機能を積極的に果たしながら、よりよい教育の姿を求め、その実現に向けたリーダーシップを期待したい。

令和6年度教育委員会事業点検・評価(令和5年度事業)結果一覧表

(教育課)

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
1	勤労青少年ホーム管理運営事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	小ホールにプロジェクター及びスクリーンが設置されるなど施設の利便性が高まっている。今後も住民福祉の向上や生涯学習提供の場として一層充実した管理運営が図られることを期待する。感染症問題が収束しつつある現在、生涯学習や芸術文化の拠点としての運営を今後も期待したい。
2	多目的研修集会施設管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	大規模改修が完了し、全館の冷暖房完備及びトイレ等の環境衛生設備の充実など、施設の利便性が大きく向上。今後も、音響設備などの計画的な修理と維持管理運営を期待する。各種団体の活動の場として、今後も計画的に利便性の向上を図りながら維持に努めていただきたい。
3	教育委員会運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	定例会及び早期対応が求められる臨時会などが適正に運営されている。なお、小野町教育大綱の実効ある取組に向けて総合教育会議を複数回開催するなど、小野町の教育の要としての運営を大いに期待したい。
4	教育委員会事務局事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	指導主事を中心に児童生徒の学力や教員の実践的指導力の向上を図る事業を推進し、外国語指導も含め一定の成果を上げている。また、施設管理、事務事業も適切に運営されている。子育て支援課と放課後の居場所づくりやの登下校時の安全確保など今後一層の充実を期待する。
5	森林環境学習事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	地球温暖化や自然災害防止のための森林の役割は大きく、今後も、各小中学校の児童生徒の関心を高めるため、継続した取り組みを期待したい。教育課程編成では、小中学校との共通理解を図るとともに、SDGsの視点も踏まえながら創意工夫ある森林環境学習が実施されることを期待する。
6	スクールバス運行事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	児童生徒の安全確保を重視し、保護者の要望を真摯に受け止め発達段階に応じた通学距離の見直しを行うなど、適切な遠距離通学支援がなされている。スクールバス運行に対する保護者のニーズは高く、児童生徒の安全確保のために必要不可欠。さらなる効率向上に期待したい。
7	小学校管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	小野小学校の仮校舎としての使用にあたっては、今後も適切な維持管理に努められたい。また、廃校となった施設については、先進事例や地域の実態をふまえて有効活用を検討するとともに、必要な整備を計画的に実施されたい。児童の安全、快適な学習生活のため、今後も計画的に整備される事を期待する。
8	小学校教育振興事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	学校教育の充実に向けて、教育環境の整備や学力対策事業が適正に推進されている。特に、各種検定の受検補助やスプリング・ショートプログラムの実施等、個への支援は充実しているなお、GIGAスクール構想推進にあたって、MEXCBT(メクビット)の導入に向けた具体的な推進計画等の作成を期待したい。
9	中学校管理事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	生徒の快適な教育環境づくりに向けて、施設の適正な維持管理運営が図られている。今後も教育効果の向上や安全確保などをふまえながら施設・設備の適正な維持管理に努められたい。
10	中学校教育振興事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	学校教育の充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業が適正に推進されている。今後もスクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる心身の安定に向けた相談体制を継続していただきたい。また、電子黒板等、新たなICT教育機器の推進やサマー・ショートプログラムの実施による学力向上を期待したい。
11	社会教育総務事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	生涯学習や社会教育活動等の社会教育に関して、外部評価や意見を真摯に受け止めるとともに取り入れ効率的な事業展開がされている。
12	生涯学習振興事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	多様な住民ニーズをとらえ、講座等の開設や各種行事が開催されている。今後の建設的かつ持続的な対応と的確な事業推進に期待する。
13	国際交流事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	小中学生のブリティッシュヒルズへの派遣等、国際化社会への対応を目的とした事業が良好に展開されている。今後は、地域住民が積極的に参加できるような国際交流事業の展開を期待する。

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
14	公民館管理運営事業	B	見直しの上継続	B	見直しの上継続	多目的研修集会施設内への公民館事務所の設置は、利便性や機能性を高めており、生涯学習の拠点として、地域住民の教養の向上や生活文化の振興などに寄与している。また、雁股田分館については、地域住民のニーズに応えられる施設となるよう総合的に検討されることを期待する。
15	一般管理運営事業(郷土史料館)	B	さらに重点化	B	さらに重点化	町民が歴史、文化に触れる場として適切に運営されている。今後も地域住民の情報収集や芸術、文化活動の場として施設の維持管理がなされる事を期待したい。また、郷土資料館に整備された多目的学習スペースについては、今後の更なる利活用の促進を期待したい。
16	丘灯至夫記念館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	偉人マンガの作成等、住民が丘灯至夫氏業績に理解を深めるための展開がなされている。町民の自信と誇りにもつながり、大いに評価できる。今後、町のPR、観光的な観点をふまえての利活用の充実に期待する。
17	図書館管理運営事業	A	さらに重点化	A	さらに重点化	小学校からのリクエストに対応した配本業務をスタートさせるなど、学校と連携した図書館システムの充実が図られている。今後、障がい者や高齢者向けサービス事業の展開と、一般町民の利用拡大に向けた継続的な取組を期待する。
18	美術館管理運営事業	B	さらに重点化	B	さらに重点化	地域住民の作品発表や講座、乳幼児や高齢者等を対象とした新企画展が実施されるなど、身近な美術館として有効活用されている。今後は、経年劣化による修繕を実施し、更なる充実に努めることを期待したい。
19	文化財管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	新たな文化財の掘り起こし、天然記念物の養生の実施、文化財ウオークの実施等、良好に展開されている。今後、諏訪神社の爺スギ・媼スギの保護に関する実施計画が作成されることを期待したい。
20	社会体育総務事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	各種大会や講習会を通じて町民の交流や技術力向上を図るとともに、ユニフォーム新調や用具補充もされるなど、スポーツ振興を図る事業が適切に推進されている。今後もスポーツ人口の増加を図り、各団体の活性化につながる支援を期待する。
21	スポーツ振興事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	青少年から高齢者まで参加出来る大会や教室、おためしジムを開催し住民の健康増進や交流のために良好に運営されている。今後も住民が自ら取り組み、日常的に運動に親しむ事が出来る事業展開を期待したい。
22	学校体育施設開放事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続	身近な場所でスポーツが出来る各学校施設は、気軽に利用でき運動の機会につながる。町民の心身の健康保持、増進に大きな役割を担っている。今後も適切な整備、管理運営を期待したい。
23	体育施設事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	町民への生涯スポーツの場の提供やコミュニケーションの場として有効に展開されている。今後も適切な整備及び管理運営を行うとともに、老朽化に対応する計画的な整備を期待する。
24	給食センター管理運営事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	児童生徒への安全で栄養価の高い給食を提供し、給食センターの役割が十分に果たされている。諸経費の高騰が懸念される状況下であるが、今後とも学校給食の安定供給を継続的に行うとともに、発達段階に応じた望ましい食習慣の形成に努められたい。
25	学校給食検査体制整備事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	放射性物質検査体制が整備され、学校給食への安心安全の確保にむけた取り組みが充実している。今後の事業実施にあたっては、福島県の学校給食モニタリング事業の動向とともに、保護者のニーズ等をふまえながら必要な改善等について検討されたい。
26	文化・体育振興事業	A	現状のまま継続	A	現状のまま継続	各種団体への補助や顕彰事業などを通して、文化・体育振興に成果をあげている。なお、基金原資の減少をふまえ、各種団体の現状やニーズを把握しながら、増資の方策や基金の計画的な運用について検討を行っていただきたい。